



原子力発電所女性運転員（技術系女性社員）意見交換会 中国電力島根原子力発電所他にて開催





# JANSI トピックス

## 安全啓発ポスターポケットガイドを掲載

安全な現場作業のためのヒューマンパフォーマンスツール※をまとめた「安全啓発ポスターポケットガイド」を作成し、公開しています。

※ヒューマンパフォーマンスツール：人がミスをしにくくし、安全で確実に仕事をするための「行動の工夫・仕組み」  
ヒューマンパフォーマンスツール（10事例）のポイントを紹介していますので、  
こちらよりダウンロードし、ご活用ください。

安全啓発ポスターポケットガイド

安全な現場作業のための

### ヒューマン パフォーマンスツール



一般社団法人 原子力安全推進協会  
Japan Nuclear Safety Institute

### 本ポケットガイドの活用例

- 作業現場の TBM 等で HP ツールの使い方を確認し実践する
- 事務所内打合せや研修において HP ツールを学んで作業計画に反映する
- HP ツールの疑問に対する説明に使用する



ポケットガイド抜粋

このポケットガイドをスマホ／PCで見る



こちらのQRコードからもダウンロード可能です。



Dr.ジャン・シーが  
ご案内します。



**J A N S I**  
Japan Nuclear Safety Institute

## 原子力発電所女性運転員（技術系女性社員）意見交換会を開催

JANSIでは、10月22日、23日に中国電力様にご協力をいただき、島根原子力発電所他で女性運転員（技術系女性社員）意見交換会を開催しました。

本意見交換会は、原子力発電所および再処理施設で働く女性の共通的な課題、悩みを共有し意見交換することを目的としております。

今回は、島根原子力発電所3号機の現場視察と、原子力発電所で働く2名の技術系女性社員から基調講演をいただいた後、大阪大学の八木教授をファシリテーターとして活発な意見交換が行われました。



現場視察の様子



意見交換会の様子





# JANSI トピックス

## 発電所長研修を開催

JANSIでは、11月20日、21日に発電所長研修を開催しました。

本研修は、発電所長を対象に、現場最前線の最高責任者としての心構え・覚悟を再確認していただくことを目的に開催しております。

今回は、元自衛隊陸上幕僚長で三菱重工業株式会社顧問（JANSI国内アドバイザー委員）の湯浅悟郎氏から「危機事態に組織の力を発揮し対応するために」をテーマに、また、現役機長であり日本航空株式会社 安全推進本部安全推進部部長（安全企画担当）の宮田正行氏から「航空安全の更なる向上に向けて」をテーマに、それぞれご講演いただきました。

各講演の後、参加者は緊急事態に対する平時の備えおよび更なるパフォーマンス改善について意見交換を行い、参加者間で取り組み事例等を共有しました。



**J A N S I**  
Japan Nuclear Safety Institute



講演の様子

## 社長研修を開催

JANSIでは、12月18日に社長研修を開催しました。

本研修は、電気事業者および再処理事業者のトップが一堂に会し、原子力安全に関するタイムリーなテーマについて意見交換を行い、意識・価値を共有する場として開催しています。

今回は、東日本旅客鉄道株式会社 代表取締役副社長の渡利氏を講師にお迎えし、鉄道事業における安全性向上および労働災害防止に向けた取り組みについてご講演いただきました。

その後の意見交換では、渡利副社長にコメントをいただきながら、各社社長間で、世界最高水準の原子力安全の達成および労働災害防止に向けての取り組みの重要性を再確認し、社の取り組み事例等を共有しました。



リーダーシップ研修については、[こちら](#)をご覧ください。



講演の様子



# 日本における主な原子力施設の状況

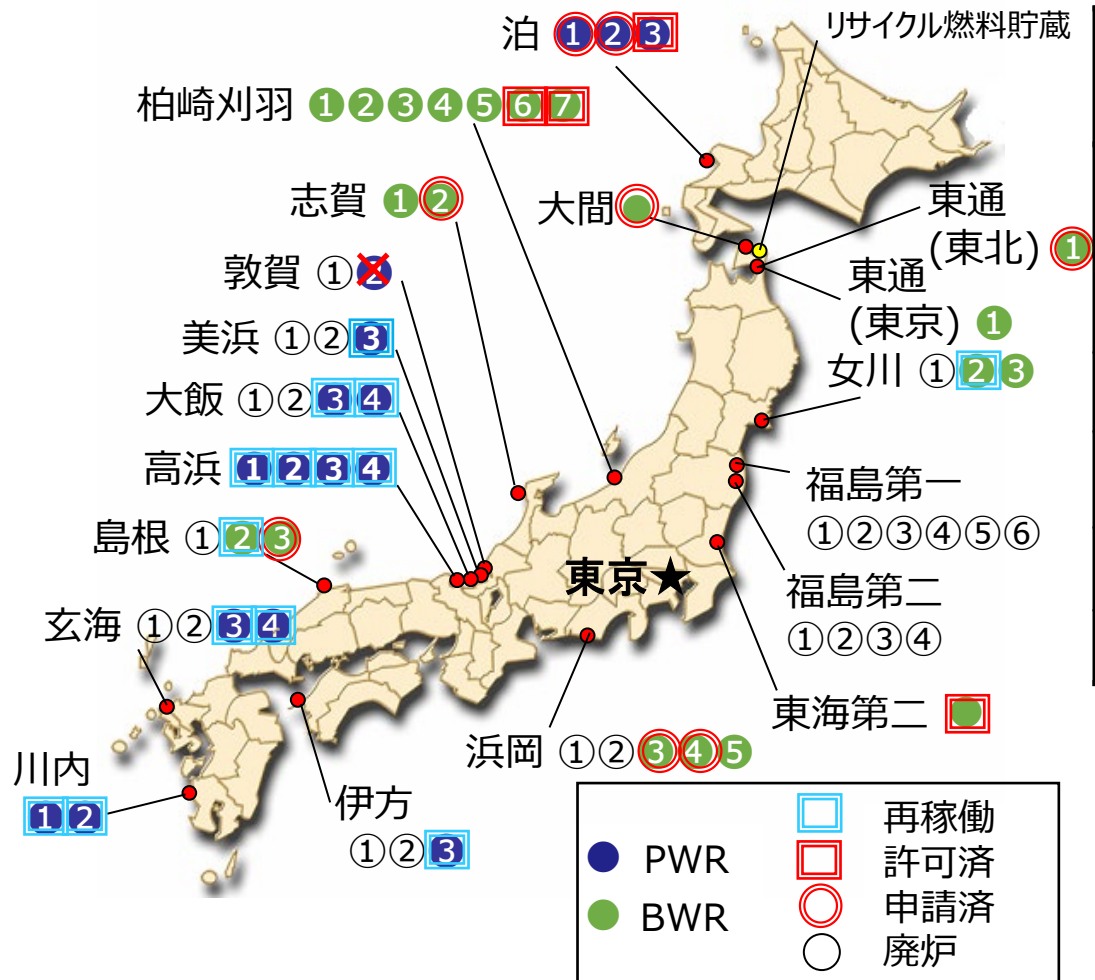
## トピックス<2025年12月末現在>

- 10/20 中国電力は、島根原子力発電所2号機原子炉建物4階で実施していた新燃料受取検査において、新燃料2体が転倒する事象が発生したことを発表した。検査前の新燃料を輸送容器から取り出すため、クレーンにより輸送容器を立て起こす際、新燃料2体が床面に転倒したもので作業員の被ばく、環境への放射能の影響はなかった。
- 11/4 関西電力は、高浜発電所2号機の50年以降運転における長期施設管理計画の認可を得たことを発表した。日本国内においては、高浜発電所1号機に続き2例目の認可となる。
- 11/28 名古屋高裁金沢支部は、地元住民らが関西電力美浜発電所3号機及び高浜発電所1～4号機の運転差し止めを求めた2件の仮処分申請に関する即時抗告審において、差し止めを認めない決定を行った。
- 12/9 日本原燃は、12月8日に発生した地震において、六ヶ所村において震度5弱を観測し、再処理工場の使用済燃料受入れ・貯蔵建屋においてプール水の溢水があったことを発表した。溢れたプール水は、使用済燃料受入れ・貯蔵建屋の燃料送出しエリアおよび燃料貯蔵エリアの床面にとどまっており、管理区域外への流出はない。また、地震発生後もプールの水位は通常の範囲内であり、排気筒モニタおよびモニタリングポスト指示値の上昇はなく、放射性物質による外部への影響及び安全上の問題はないことを合わせて発表している。なお、溢れたプール水は回収（約650ℓ）し、床面に汚染がないことを確認した。回収したプール水は放射性廃棄物として廃液処理設備にて処理を行う。
- 12/18 北海道は、鈴木直道知事が経済産業省を訪問し、北海道電力泊原子力発電所3号機の再稼働について同意を伝えたことを発表した。
- 12/23 新潟県は、花角英世知事が経済産業省を訪問し、東京電力ホールディングス柏崎刈羽原子力発電所6、7号機の再稼働について、同意を伝えたことを発表した。
- 12/23 日本原子力研究開発機構は、新型転換炉原型炉ふげんにおいて、ステンレス配管の切断作業中にトリチウムを含む水が約20mℓ漏洩したことを発表した。現場には作業員が3名いたが、被ばくはしておらず、周辺環境への放射能の影響もなかった。
- 12/25 大津地方裁判所は、地元住民らが関西電力高浜発電所1～4号機、美浜発電所3号機、大飯発電所3・4号機の運転差し止めを求めた訴訟において、請求を退ける判決を下した。住民側は同日控訴の方針を示した。



# 原子力発電所の状況

- 新規制基準適合性に係る申請を27基(PWR:16基、BWR11基)が実施
- うち18基(PWR13基、BWR5基)が許可済み、再稼働は14基。廃炉は23基
- 柏崎刈羽6号機について、12月に立地自治体が再稼働に同意
- 福島第一原子力発電所事故前は、運転が54基、建設が3基、廃炉が2基（11事業者）（原型炉等除く）



新規制基準 許可状況	PWR (●)	BWR (●)	合計
再稼働 (□)	12	2	14
許可済 (□)	1	3	4
不許可 (×)	1	0	1
審査中 (○)	2	6	8
未申請	0	9	9
合計	16	20	36

上記には建設中のプラント(3基)含む

廃止ユニットの数	PWR	BWR	合計
廃炉 (○)	8	15	23